

[レスリング] JOC杯ジュニアオリンピック全日本ジュニア

4選手 世界ジュニアへ 荒木田、矢野、中谷、平川が優勝

4月21、22日、アジア・ジュニア選手権と世界ジュニア選手権の代表選考を兼ねたJOC杯ジュニアオリンピック全日本ジュニア選手権が横浜文化体育館で行われ、F120kg級の荒木田進謙(経済2・光星学院高)、G84kg級の矢野将章(経済3・広陵高)、G96kg級の中谷月明(文2・添上高)、G120kg級の平川臣一(商2・三井高)が優勝し、世界ジュニア出場を決めた。

荒木田は大会3連覇を成し遂げ、最優秀選手賞を受賞。「けがをしていたので勝てないかもしれないと思ったが、運が味方してくれた」と笑顔を見せ、「世界ジュニアでの上位進出を目指して練習に励んでいたの、キップが取れて良かった」と語った。

矢野、平川は昨年準優勝の雪辱を果たした。矢野は「コンディションも良く、優勝できて良かった。次も優勝できるようにトレーニングしていきます」、中谷は「初めての優勝だったのでうれしい」、平川は「守りと攻めをもっと練習して、体力をつけたい」と話した。

他にも、F96kg級で馬場祐太郎(経営2・島原高)、G74kg級で上迫博仁(経営2・沼津城北高)が準優勝し、アジアジュニアの出場権を得た。また、G55kg級で大谷康太(文2・向上高)が3位入賞と好成績を収めた。(有馬 利香・商3)

※文中のF=フリースタイル、G=グレコローマンスタイルの略。



▲大会3連覇を達成、最優秀選手に選ばれた荒木田



▲昨年準優勝の雪辱を果たし、初優勝の平川

[フェンシング] 関東学生リーグ戦<フルーレ>

女子2年連続13回目の優勝 男子準優勝 とともに学生王座出場へ

5月1日から駒沢屋内球技場で行われた関東学生フェンシングリーグ戦・フルーレの部で、女子が2年連続13回目の優勝を果たした。男子も準優勝し、ともに6月の全日本学生王座決定戦の出場権を獲得した。

女子主将の佐々木智子(経済4・八千代西高)は歓喜の涙を見せながら、「みんなが『一本一本を大事に取ろう』という気持ちで臨んだことが勝ちにつながったと思います。『全日本学生』でも、去年に続きいい結果が残せるよう頑張ります」と連覇を誓った。

※エペ、サーブルの結果は次号に掲載予定。



▲積極的に攻勢に出る佐々木主将<右>

(松本かおり・文2)

[バドミントン] 関東学生春季リーグ戦

女子が準優勝

関東学生バドミントン春季リーグ戦が4月28日から5月6日まで、日体大米本記念体育館で行われ、女子が3勝2敗で準優勝を果たした。

日体大、筑波大にともに2—3で敗れ、連敗スタート。しかしシングルス5戦全勝で新人賞を獲得した田村千秋(文1・昭和学園高)らが奮闘し、3戦目で明大に5—0で完勝すると、以降は青学大を4—1、早大を3—2で下した。

主務の高橋沙織(経営3・埼玉栄高)は「出足でつまずき、波に乗るまでが大変でした。どの試合も接戦でしたが、みんな良く頑張ったと思います。最後まで集中して臨めたことが後半の結果に表れたと思います」と話した。

[卓球] 関東学生新人戦 女子ダブルス

高・森藤組が優勝

男子・橋本はベスト8

関東学生卓球新人戦が4月25、26日、駒沢体育館で行われた。高瑜瑠(商1・秀光中等教育学校)・森藤みなみ(文1・相原高)組の女子ダブルス優勝を筆頭に、高が女子シングルスでベスト4、橋本明(経営1・県立広島商業高)が男子シングルスでベスト8の好成績を残した。

準決勝は3—2と苦戦したものの、決勝は3—0で圧勝し、強さをみせつけた高・森藤組は「うれしいです」と声をそろえて喜びを語った。高はけがのため試合当日まで出場が危ぶまれたが「けがが1試合1試合を大事に戦う姿勢を生み、今回の結果につながった」と振り返る。リーグ戦でも若い力がきつとチームに活力と勢いを与えてくれるはずだ。「練習以外でも仲が良い」と語る二人。期待のルーキーの活躍から目が離せない。

(田口 能成・経済3)

国際大会出場

◇漕艇部

和田 恭平(商1・二本松工業高)インターナショナル・レガッタ・ピエシチャニー(5月11～13日
=スロバキア・ブラチスラバ)

◇馬術部

西原 郁人(経済4・札幌光星高)

小田原 頌(経営2・麻布大学附属淵野辺高)日韓馬術大会(5月12、13日=JRA馬事公苑)※
小田原は全日本学生代表

◇バスケットボール部

喜多川修平(経済4・桐光学園高)

横山悠衣(文3・市立柏高)第30回李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技記念大会
(5月18～20日=代々木第2体育館)

◇フェンシング部

阪野 弘和(経済2・武生商業高)韓国国際大会(5月56日=韓国・ソウル)

◇ボクシング部

川内 将嗣(商4・龍谷高)キングスカップ国際トーナメント(4月5～10日=タイ・バンコク)

ナショナルチーム 合宿参加

◇スキー部

丸子由里香(経営1・北照高) 女子ジュニア第2次アルペン遠征(3月26日～4月10日＝カナダ・ウィスラーマウンテンほか) / アルペンスプリングキャンプ(5月21日～6月9日＝ヨーロッパ各地)